

# 生きる

大山いづみ

ここは地獄です

突き放された心は

闇の中で孤独に縛られ

帰る家の無い虚しさ

居場所の見つからない息苦しさ

飲み込むことのできない胸の痞え<sup>つか</sup>

自分の存在が何なのか

問うても 問うても

答えのない疑問だけが

転がっている

押し潰れそうな圧迫

跪いたままの心

空虚の世界に迷い込んだか

言葉は耳から胸に入る前に

吐息に飛ばされ消えゆく

透明になりたいと願う日々

見えない壁に囲まれ

感情は水底で浮遊している

何を見ても

何を聞いても上の空で

闇に盗まれたころは

何処にも見当たらない

血液の淀みさえ受け入れ

冷えた吐息だけが耳の奥で凍る

恐怖が自分以外の思考を  
持ち出しては暴れる  
抜け出すすが  
一ミリの光りさえ無く  
人事のように見ている

ガラス張りから出る為に  
どうする  
どうする の文字だけが  
波のように打ちつける  
現実逃避に気づけずにいた

ある日蟻の行列に指を置く  
巣を護るため噛む牙  
一瞬襲った小さな痛み  
忘れていた温かさが  
痛みと共に戻り  
感情の重みは心に響かせる

子等の笑顔と  
寂しさの心を思い出させた  
沈黙の小さな瞳が  
私の感情を引き上げる瞬間  
この子等の為に動かなければと  
ガラス張りの出口へ向かう  
地獄から這い出す力は  
子等への愛が力となって